

発達障害高校生への課題と対応

～高校期に必要な支援と進路選択の為の自己理解～

小・中学校で行われてきた特別支援教育を、高校ではどのように実施すべきかが課題である。高校生は比較的安定してくるが、特性は続き対人関係の難しさも増すため支援は不可欠であり、自己理解を深める支援が進路選択や将来の適応に重要となる。ただし、高校は義務教育でないため支援の範囲について合意が十分でなく、人員不足も課題である。本シンポジウムでは、特別支援学級のない高校での支援体制や通級支援の具体策について検討する。

■開催時期：令和7年10月19日（日）13時30分～16時

■場所：フェニックス・プラザ 地下大会議室A

■スケジュール

13:30～13:35 開会の挨拶および開催趣旨説明

清水 聡(JDDnet福井代表、福井県立大学)

13:35～14:35 話題提供(@20分×3人)

「福井県における高校通級制度

池田和義（福井県教育庁高校教育課）

「高等学校における支援」 未定（福井南高等学校）

「高校通級の現状」 船谷珠美（福井県立丸岡高等学校定時制）

14:35～14:45 休憩

14:45～15:55 パネルディスカッション

「発達障害高校生への支援の現状と問題点」

コーディネーター：清水 聡

パネラー ・池田和義（福井県教育長高校教育課）

・夏目恵実（福井南高等学校）

・船谷珠美（丸岡高校定時制）

15:55～16:00 総括 閉会挨拶

参加費無料 事前登録 80名まで

主催：日本発達障害ネットワーク福井（JDDnet福井）

共催：NPO法人はるもにあ 後援：福井水仙ロータリークラブ

JDDnet福井 令和7年度シンポジウム 参加申込方法

締切:10月14日

[illegible]